

## 無電解ニッケルメッキ・大型部品対応

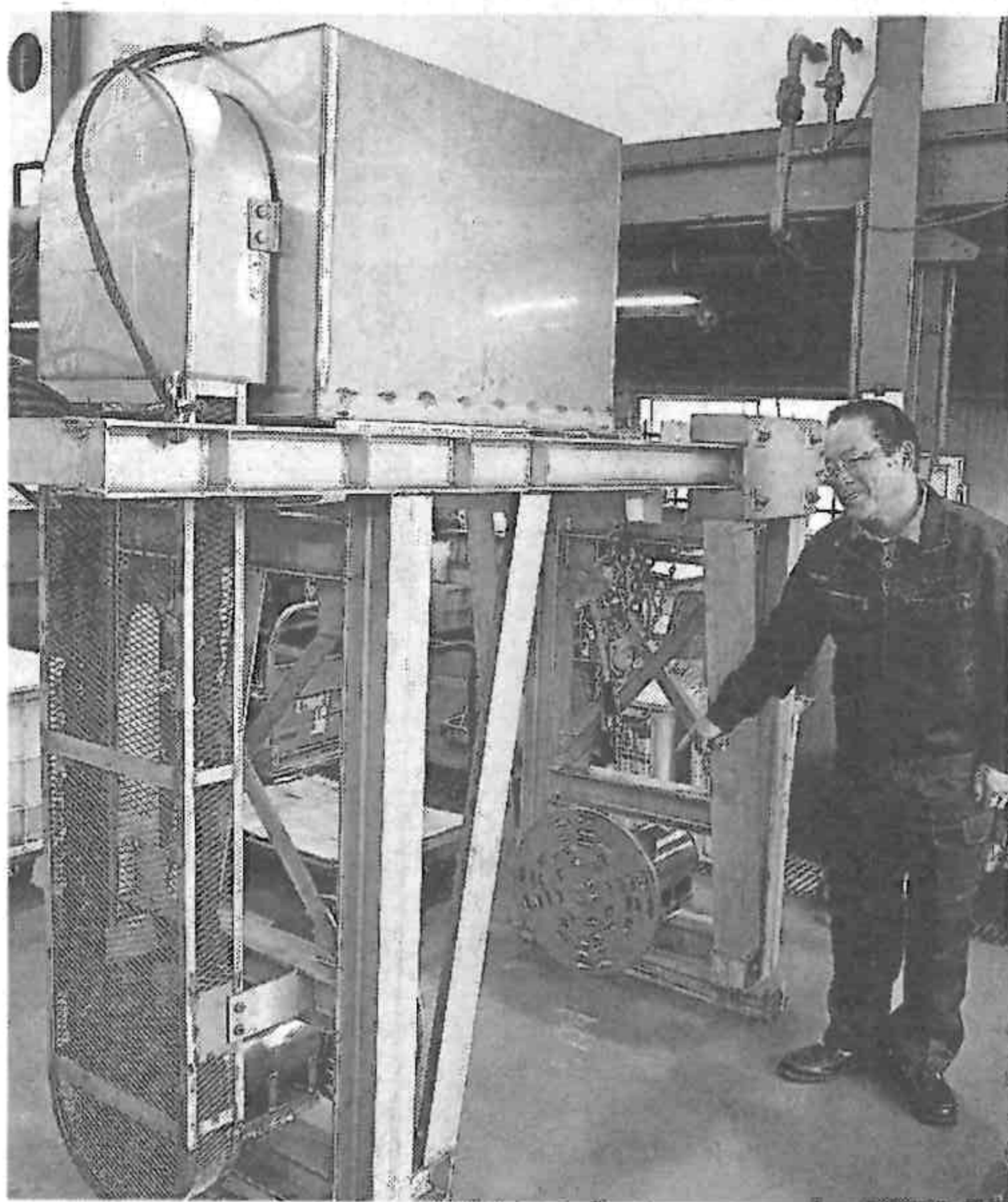
# 光洋金属防蝕 P R強化

メッキ加工の光洋金属防蝕（下松市）は、**铸造部品**を薬品に浸して表面を覆う「無電解ニッケルメッキ」の売り込みを強める。複数回の洗浄や自動メッキのラインを10月に本格稼働。半導体製造装置の土台部分など、大型部品に対応するメッキ槽も導入しており、関西圏に流出していた発注を取り戻す。（桑田勇樹）

コンビナート企業のプラント部材などに使われる鉄やステンレスなどの**铸造部品**は、製造段階で表面に小さなへこみができる。薬品への耐性などを高めるために表面をメッキする際、へ

こみや部品の形状によってはむらが生じる。同社は5〜10月、メッキ前に油分を除去するための熱処理や超音波洗浄など、大型部品に対応する自動ラインを新設。長さ約1・5

メートルまでの部品を挟み、自動で回転させて均一にメッキする装置も備えた。高温のメッキ液に近づく必要がなく、安全に作業できる。約1500万円を投じた。高さ2・5メートルと中四国、九州で最大級のメッキ槽も新設。従来はひっくり返してメッキしていた大型部品も1度漬けるだけで済むため、品質がより高まった。清



メッキする部品を回転させる装置を説明する清見原社長

見原和則社長は「メッキ加工は成長分野だが、広島や九州の需要を関西の企業に」としている。取られていた。自社技術をPRして受注増につなげた